

# 検討状況及び検討方針(案)

---

【第1回 石巻市南浜地区復興祈念公園有識者委員会 資料】

平成27年10月7日

# 目 次

---

1. 検討体制(案)	2
2. 検討スケジュール(案)	6
3. 周辺事業の進捗状況	7
・新門脇地区土地区画整理事業等	8
・防災マリーナ	9
・河川堤防・旧北上川かわまちづくり	10
4. 整備スケジュール(案)	11
□検討状況	
5. 公園メインゲート・駐車場の配置(案)	13
6. 湿地の再生と雨水排水計画(案)	14
7. 国・県・市の役割と整備エリア区分(案)	15
8. がんばろう石巻看板の移設計画(案)	16
9. 植栽計画(案)	18

# 1. 検討体制(案) 1/4

## 石巻市南浜地区復興祈念公園 有識者委員会

■石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)(以下、公園)の計画・設計の検討  
(空間デザイン検討委員会等の検討状況の報告・オーソライズ)

【開催】:年2回程度

【事務局】:◎宮城県、国土交通省、石巻市

報告

## 石巻市南浜地区復興祈念公園 空間デザイン検討委員会

■公園における空間デザイン(基本設計)の検討  
(国営施設、県整備区域等)

【開催】:年6回程度

【事務局】:◎国土交通省東北国営公園事務所、宮城県、石巻市

連携

## 石巻市南浜地区復興祈念公園 計画検討協議会

■地域の方々と協働して公園の利活用を検討

【開催】:年数回程度

【事務局】:◎石巻市、国土交通省、宮城県

◎幹事組織

## 1. 検討体制(案) 2/4 【有識者委員会】

### 石巻市南浜地区復興祈念公園 有識者委員会

目的:石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)の計画・設計の検討を行う  
(空間デザイン検討委員会等の検討状況の報告・オーソライズ)

#### 委員名簿

	氏名	役職
委員長	涌井 史郎	東京都市大学環境学部 教授
副委員長	森山 雅幸	宮城大学 名誉教授
委員	牛尾 陽子	公益財団法人東北活性化研究センターフェロー
〃	岸井 隆幸	日本大学理工学部教授
〃	中 静 透	東北大学大学院生命科学研究科教授
〃	亀山 紘	石巻市長
〃	遠藤 信哉	宮城県土木部長

(敬称略)

## 1. 検討体制(案) 3/4 【空間デザイン検討委員会】

### 石巻市南浜地区復興祈念公園 空間デザイン検討委員会

目的:石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)の空間デザイン(基本設計)の検討を行う

#### 委員名簿

	氏名	役職
委員長	佐々木 葉	早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 教授
委員	阿部 聡史	環境デザイナー
〃	小野田 泰明	東北大学大学院 工学研究科 教授
〃	濱野 周泰	東京農業大学 造園科学科 教授
〃	渡部 桂	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科 准教授
顧問	涌井 史郎	東京都市大学環境学部 教授
〃	森山 雅幸	宮城大学 名誉教授

(敬称略)

## 1. 検討体制(案) 4/4 【計画検討協議会】

### 石巻市南浜地区復興祈念公園 計画検討協議会

目的: 地域の方々と協働して公園の利活用を検討する (参加者は公募により選定)

#### 【応募者の概要】

市民及び地元団体より全22件の応募(団体:9団体、個人:13名) ⇒ 全応募者が参加予定

#### 協議内容(案)

開催回・時期	協議内容(案)
第1回 平成27年10月17日 (予定)	<ul style="list-style-type: none"><li>○石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)基本計画の説明</li><li>○計画検討協議会における検討範囲(分野)について検討(杜づくりや伝承等)</li><li>○公園の利活用のあり方について検討 (どのような係わり方ができるのか? どのような係わり方をしたいのか?)</li></ul>
第2回以降 ※適宜開催予定	<ul style="list-style-type: none"><li>○空間デザイン検討委員会の結果報告</li><li>○具体的な市民協働の活動シーンについての検討</li><li>○具体的な市民協働の実現に向けた課題の抽出・解決方策の検討</li><li>○市民協働のプロセスについて検討(2020年開園までの準備と開園以降)</li><li>○活動内容と役割分担について検討</li><li>○活動スケジュールの検討</li><li>○次年度以降の協議会のあり方について検討</li></ul>

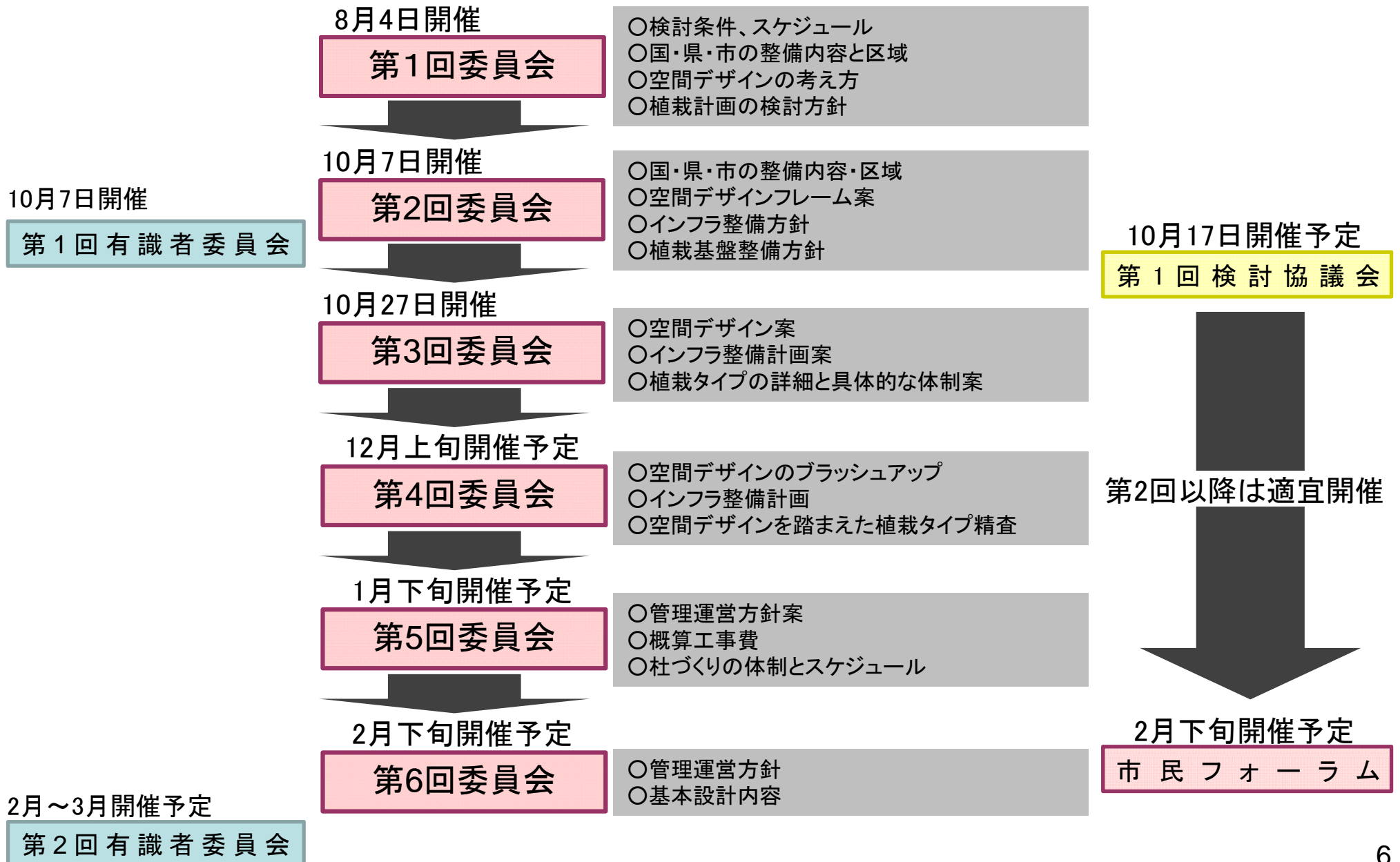
⇒ 協議内容は、平成28年2月下旬開催予定の市民フォーラム(仮称)で紹介

## 2. 検討スケジュール(案)

### 有識者委員会【県】

### 空間デザイン検討委員会【国】

### 計画検討協議会【市】



### 3. 周辺事業の進捗状況 1/4





### 3. 周辺事業の進捗状況 2/4 【新門脇地区土地区画整理事業等】

- 新門脇地区は、平成30年度の完成に向けて造成工事が進められている
- 新門脇地区内の復興公営住宅は、平成29年1月頃から入居開始予定
- 都市計画道路のうち、門脇稲井線は平成28年度(新門脇地区内)、南光門脇線は平成28年度完成予定



①現在造成工事が進められている



②既にT.P.+3.50m付近まで盛土されている

### 3. 周辺事業の進捗状況 3/4 【防災マリーナ】

○平成26年度より計画検討を開始し、今年度調査設計を実施

○河川堤防、周辺整備及び施設の管理運営について検討・調整し、平成31年4月の供用開始を目指す

【防災マリーナの規模・施設概要】

係留形式：堤防内側への陸上係留

整備面積：約17,000m<sup>2</sup>（うち陸上部14,000m<sup>2</sup>）

保管隻数：100隻

主な施設：管理棟、駐車場、ボートヤード、浮棧橋、上下架施設等

事業スケジュール(予定)

	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
施設整備	計画 検討	調査 設計	基盤 整備	施設整備		◎ H31年4月 供用開始
管理運営 指定管理 者制度等			管理運営 方法の 調査検討	指定管理 者制度設 計	指定管理 者選定手 続き	◎ H31年4月 指定管理 開始
					指定管理 条例策定	

### 3. 周辺事業の進捗状況 4/4 【河川堤防・旧北上川かわまちづくり】

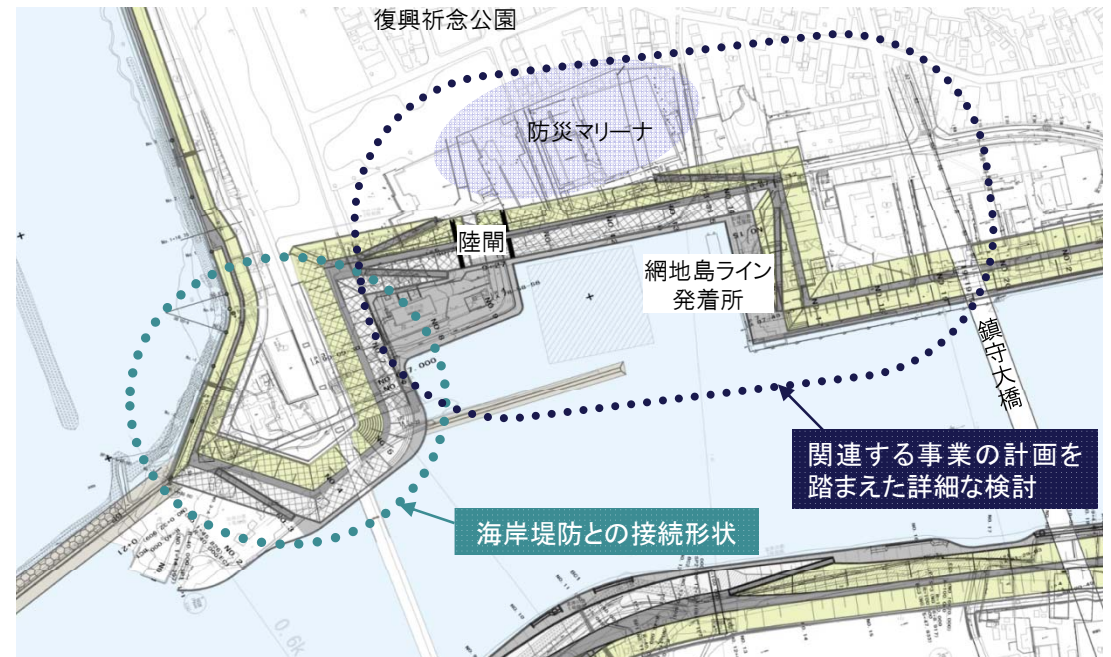
- 平成24年から堤防工事の前段となる護岸工事に着手しており、堤防整備事業は、平成30年度完了予定
- 堤防整備と合わせ、「旧北上川かわまちづくり」として、市民の集いの場、憩いの場となる水辺空間の整備を進めている



▲工事進捗状況



▲整備イメージ



▲かわまちづくりの検討課題

#### 【かわまちづくりの検討状況－南浜地区の課題－】

- ◎関連する事業(復興祈念公園、防災マリーナ、網地島ライン、鎮守大橋等)の計画を踏まえ、それらとの関係性、利便性等を考慮した形状や施設配置等の詳細な検討を行う。
- ◎海岸堤防との接続部分のあり方について関係機関と調整を図りながら、堤防法線の検討を行う。

## 4. 整備スケジュール(案)

実施内容		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33~42 年度	H43以降 年度
催事等							震災10周年	20周年	30周年...
国	園地計画・設計	基本設計・実施設計							
	試験植栽		種子/用土採取・育苗・情報収集						
	供木移植		樹種選定・圃場整備・育成						
	整備工事		整備工事						
	運営管理						復興祈念公園の完成目標	運営管理	
県	都市計画決定	●							
	園地計画・設計	基本設計・実施設計							
	整備工事		整備工事						
	運営管理				運営組織検討準備			運営管理	
市	都市計画決定	●							
	園地計画・設計	基本設計・実施設計							
	整備工事		整備工事						
	協働組織づくり	協議会	協働組織による試行・改善・組織化準備						
	運営管理						協働組織と連携した運営管理		

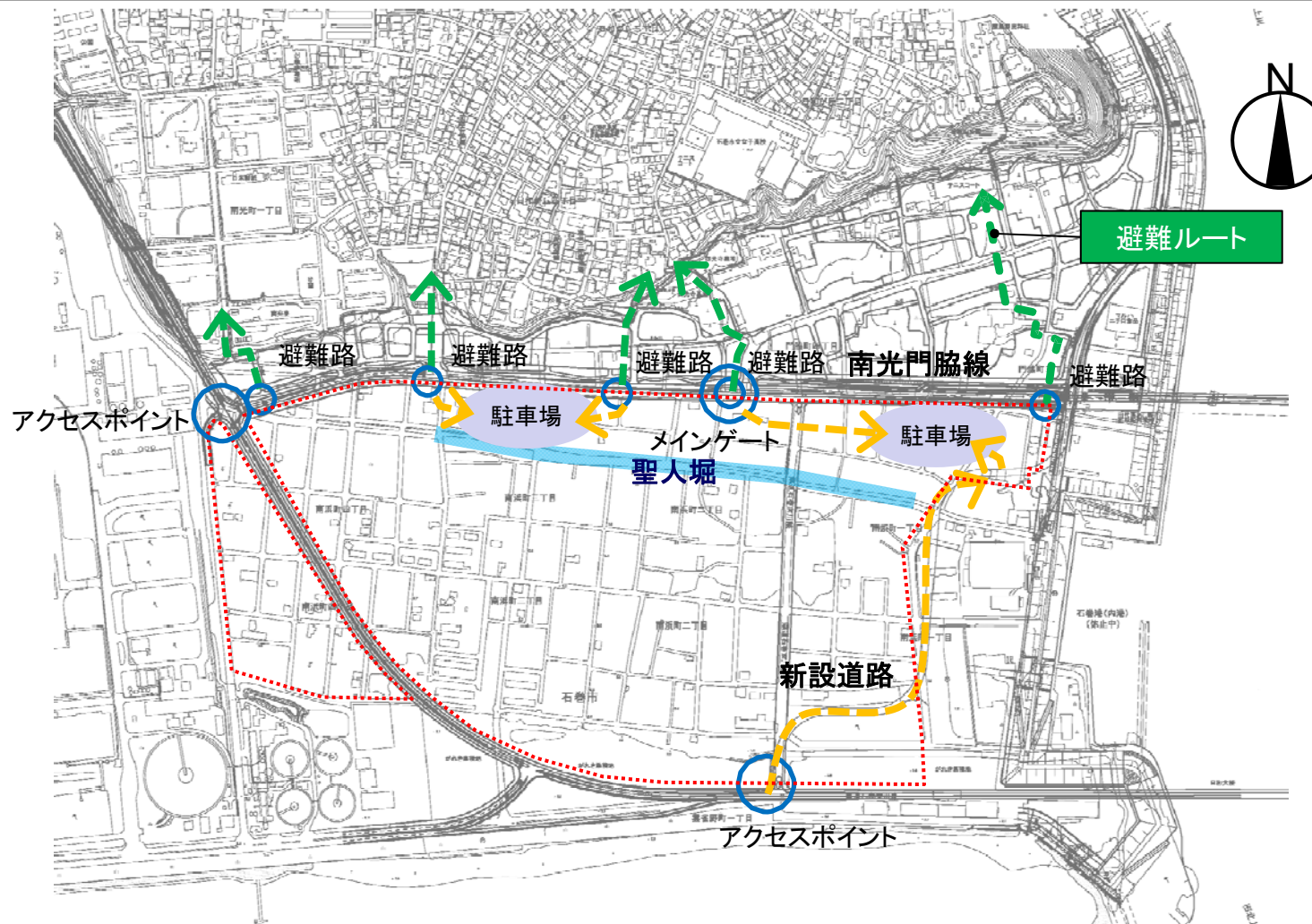
# 検討状況

---

- 公園メインゲート・駐車場の配置(案)
- 湿地の再生と雨水排水計画(案)
- 国・県・市の役割と整備エリア区分(案)
- がんばろう石巻看板の移設計画(案)
- 植栽計画(案)

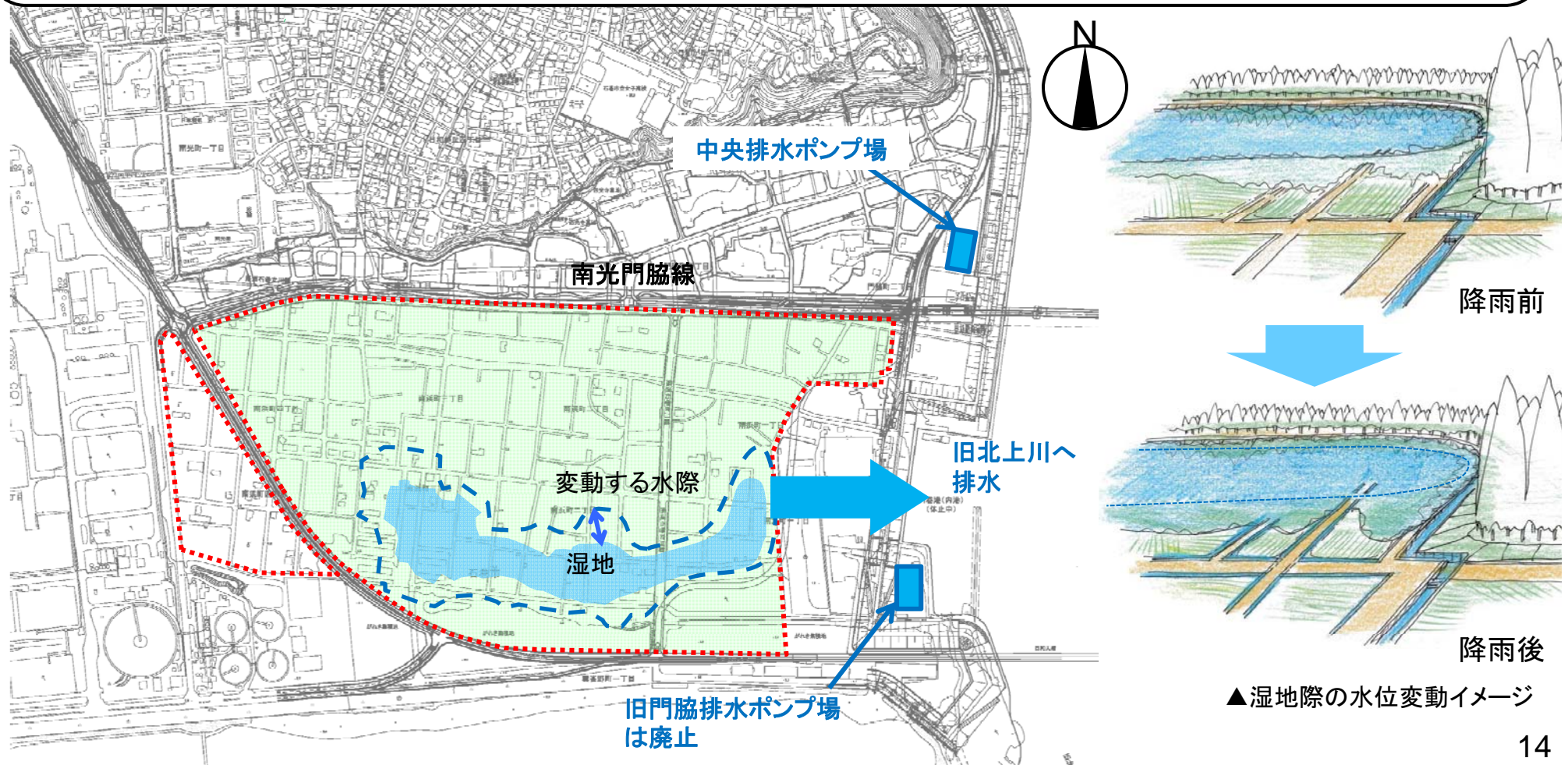
## 5. 公園メインゲート・駐車場の配置(案)

- 公園北側のメインゲートは、新門脇地区の避難ルートとの連続性に配慮し配置する
- 公園南側は、敷地東を南北方向に通過する新設道路より公園内に誘導する
- 主要な駐車場は、公園内の歩行者動線との交錯を避け、南光門脇線と聖人堀の間に配置する



## 6. 湿地の再生と雨水排水計画(案)

- 既設の門脇排水ポンプ場が廃止され、新たに整備される中央排水ポンプ場は南光門脇線よりも北側の地域を受け持つため、別途公園単独の放流先が必要となる
- かつての地域の環境を踏まえ再生する湿地は、計画地の雨水を一時的に貯留する場としても活用する
- 湿地の貯留機能を活用することで、雨水の流出抑制、及び雨水排水施設のコスト縮減を図る
- 降雨前後で水際が変動することで、かつての浜と自然との係わりを感じられる特徴的な景観を形成する

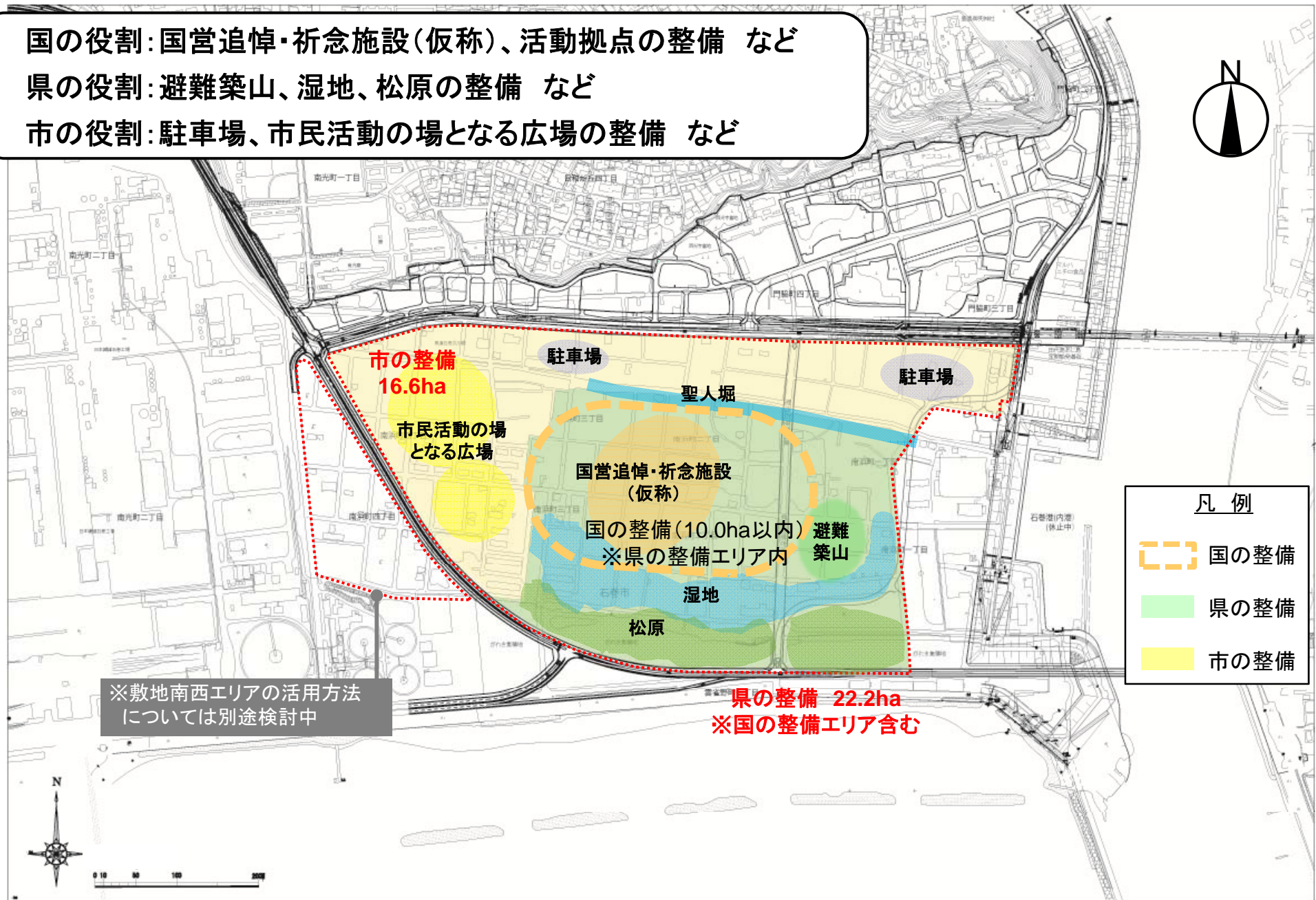


## 7. 国・県・市の役割と整備エリア区分(案)

国の役割: 国営追悼・祈念施設(仮称)、活動拠点の整備 など

県の役割: 避難築山、湿地、松原の整備 など

市の役割: 駐車場、市民活動の場となる広場の整備 など





## 8. がんばろう石巻看板の移設計画(案) 1/2

- 「がんばろう石巻看板」は、震災直後の被災地に、津波で流されてきた材料で制作された
- 復興への想いが込められた看板は、自然発生的な追悼の場、伝承活動の場となっていた



- 周辺事業の進捗に伴い、移設を余儀なくされるが、これまでの地域での利用実態にも配慮し、  
国営追悼・祈念施設エリア内のすでに市有地となっている敷地に機能を移転する

※基本計画においても「がんばろう石巻」看板の機能を移転することが定められている



▲【がんばろう石巻看板】と広場

- ・現看板は津波で流された建物跡に設置
- ・周囲には、献花台や津波到達高さを示すポールなどが設置されている
- ・看板前の広場では、節目の追悼の集いが開催されている

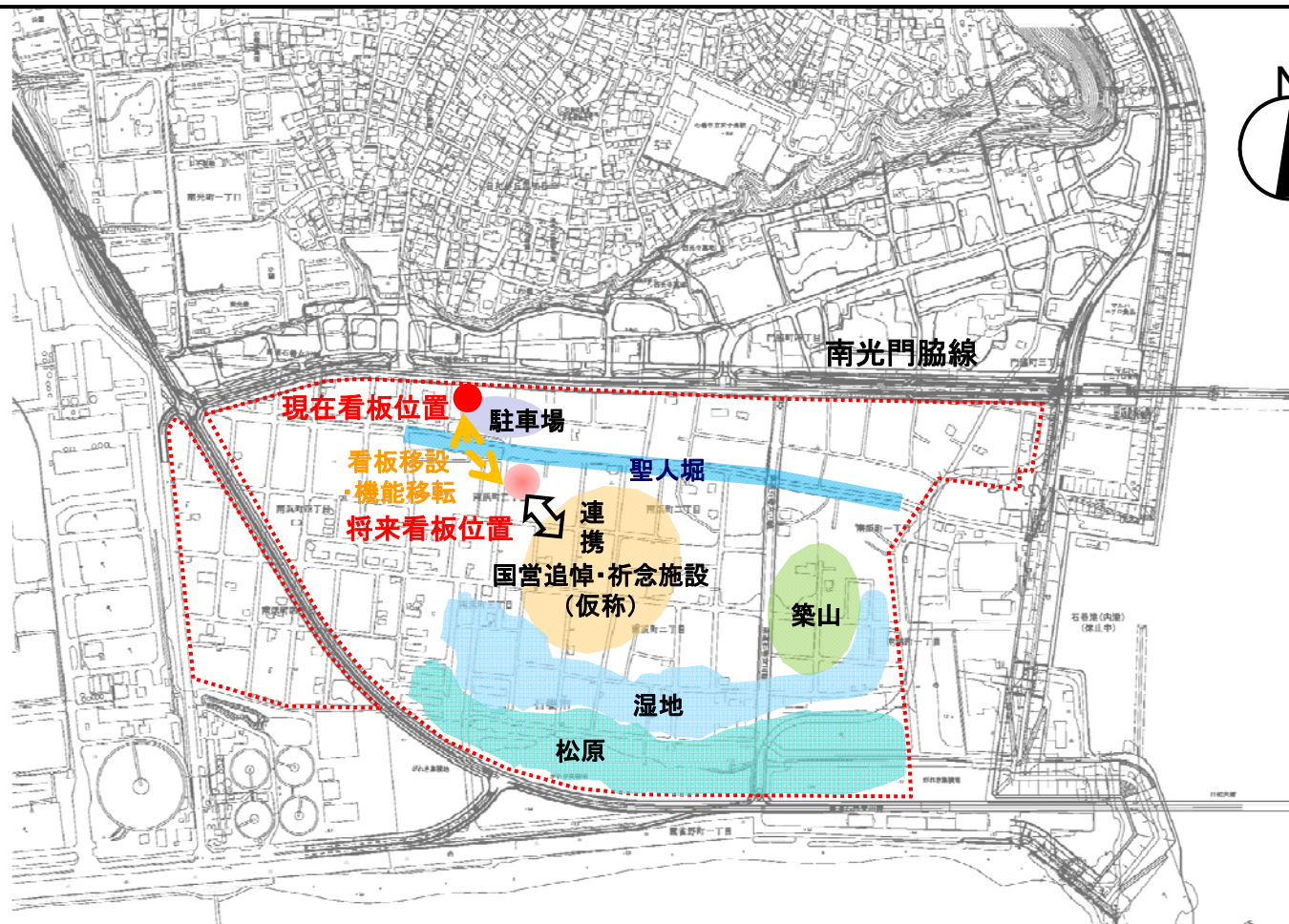


▲3.11追悼のつどいの様子

## 8. がんばろう石巻看板の移設計画(案) 2/2

### 【看板移設の考え方】

- 看板移設先には、これまでの活動を考慮し、必要な空間を確保する
- 近傍に移設するなど、現存位置の場所性(空間イメージ)を継承する
- 駐車場との位置関係に配慮し、アクセスしやすく、活動しやすい位置に移設する
- 公園整備時の動線確保、再移設の不要な配置計画に配慮する



## 9. 植栽計画(案) 1/3 【地域性苗の確保】

- 現地に適した苗木の生産と育成を図るため、計画地周辺で種子の採取とポット苗用土の採取を実施
- 種子は現地周辺の自生木から採取し、ポット苗用土は公園計画地内から採取した
- 現地の作業は、(一社)日本植木協会と連携し実施した



▲ポット苗用土の採取



▲ポット苗用土の採取



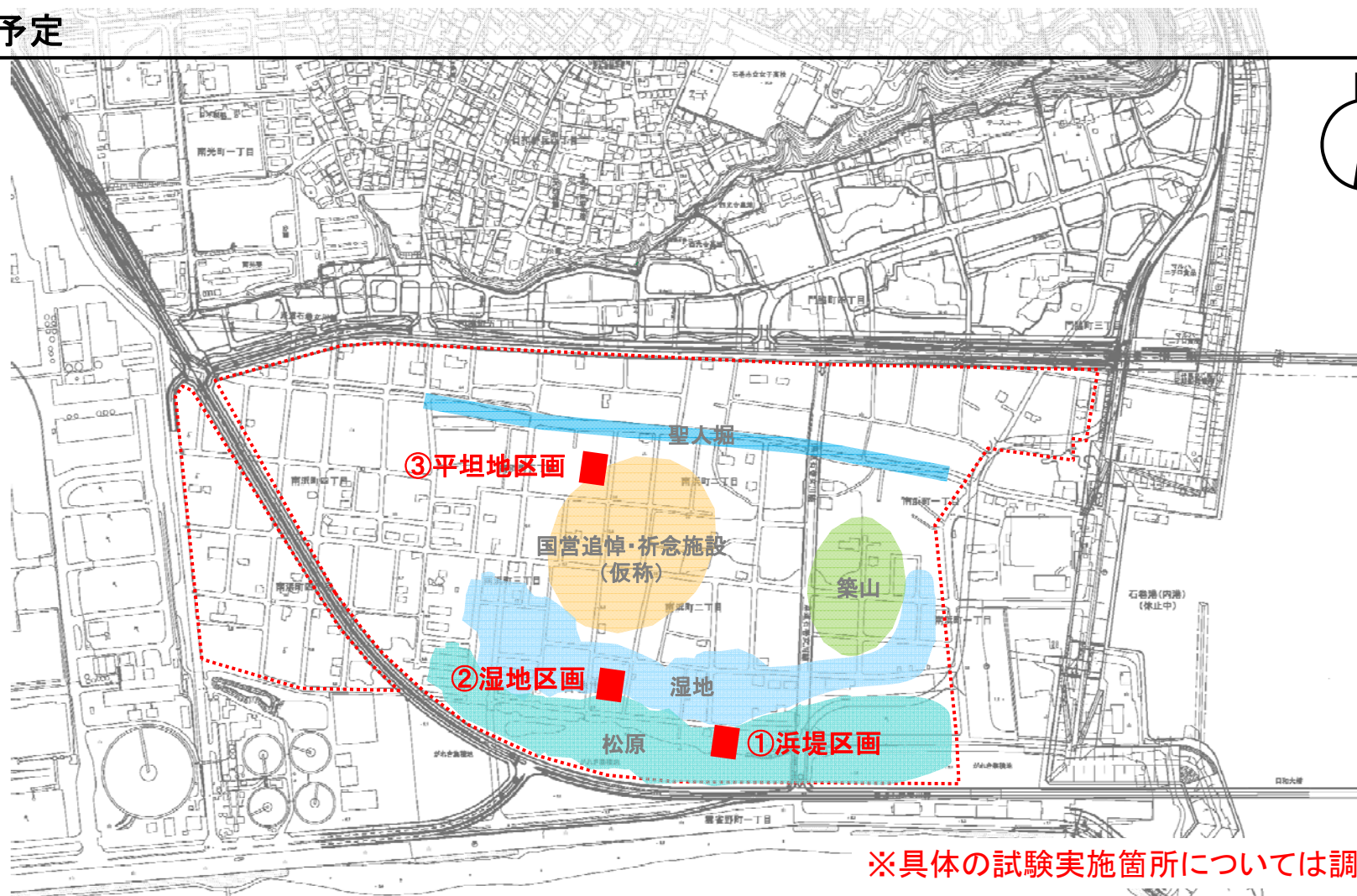
▲地域苗生産用種子の採取



▲地域苗生産用種子の採取

## 9. 植栽計画(案) 2/3 【試験植栽の実施】

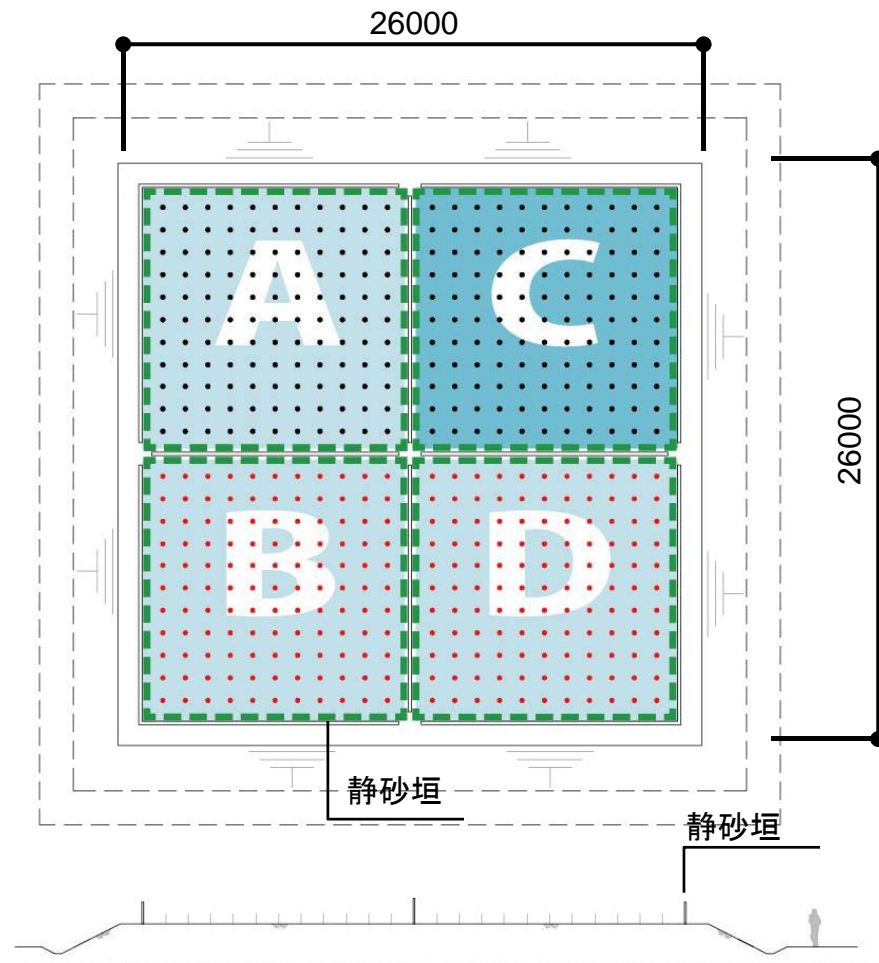
- 植栽構成の課題や改善事項、湿地を中心とした自然復元状況、市民や各種団体との協働のあり方を把握するため試験植栽を実施する
- 計画する植栽タイプを踏まえ、①浜堤区画 ②湿地区画 ③平坦地区画 の3パターンを実施
- (一社)日本造園建設業協会及び(一社)宮城県造園建設業協会との連携により試験植栽地を年内に造成予定



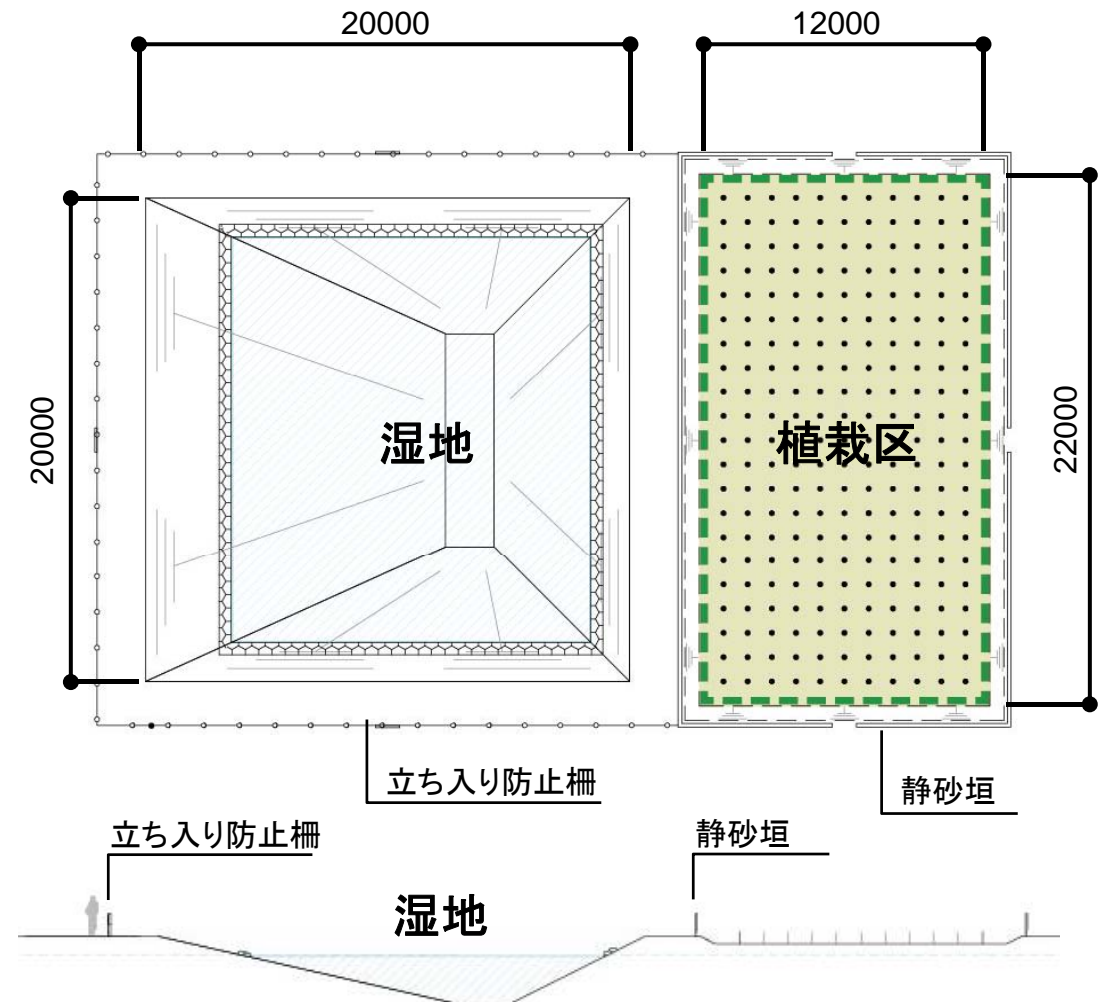
※具体の試験実施箇所については調整中

## 9. 植栽計画(案) 3/3 【試験植栽の実施】

- 各試験植栽区では、敷地をいくつかの区画に分け、現地の表層土混入の有無、樹種の構成など条件を変えることにより、様々な条件下での育苗状況を比較する
- 湿地区画では、試掘を行い、水位及びその変動、池や湿地の動植物の復元状況を確認する



▲試験植栽区のイメージ(浜堤区画)



▲試験植栽区のイメージ(湿地区画)